

こすもすステーション

Vol. 1
2013年12月号

こすもすくらぶは、自分自身の障がいや病気に向き合う人が、それぞれの目標を見つけ、そこに向かう準備をする場所。「私たちのこれからの人生の出発点」という意味を込めて、この名前をつけました。

～伊藤社長にインタビュー～

「あせらず、あわてず、あきらめず」

こすもすステーション第1号を記念して、私たちが(株)コスモスの社長・伊藤繁さんにインタビューしました！

(株)コスモス立ち上げに思うこと

伊藤さんは47才で、視覚障がい者になりました。その途端に生活が一変し、日常生活や就労においてたくさんの苦勞をしたそうです。

そこで、同じようにたくさんの苦勞を目の前にしている障がい者や病気の人役に立ちたいと一念発起、自分だからこそ、より相手に寄り添った支援ができるのではないかと考えました。その後、ボランティア活動や福祉の勉強を経て、(株)コスモスの立ち上げに至ったそうです。

「自分の人生を楽しんでほしい」

障がいの有無に関わらず、私たちには、働いたり遊んだりして人生を楽しむ権利があります。そのために、いろいろな人と関わっていくことで、人として成長してほしいと伊藤さんは言います。働くことがすべてではありませんが、自分の人生、生き方は自分自身で決めていかなければなりません。そのために、安定できる自分のペースを見つけていってほしいとおっしゃっていました。

「障がいがあることは ‘かわいそう’ ではない」

視覚障がい者が、一人で行動するのはたくさんの危険がともなうそうです。人とぶつかったり、溝に落ちることもあります。レグルス君(盲導

犬)と一緒にだと、白杖で歩く時の苦勞はなくなりました。どんな時にも一生懸命サポートしてくれる盲導犬は、大切なパートナーです。伊藤さんのお話を聴いているうちにコスモスのパンフレットにある言葉を思い出しました。「障がいのある人は自分自身がかわいそうとは思っていません。不得手な部分、障がいゆえの不便を補ってさえいただければそれでいいのです」。

私たち自身、そんな考え方ができていたかなと気づかされました。



3つの『あ』

障がいがあってもなくても、生きてると苦しいことや悲しいことがあります。そんな時、壁にぶつかっても『あせらない』『あわてない』。だけど、前進することを決して『あきらめない』。ことが大切だと教えてくださいました。当たり前前のように実は難しい、この3つの『あ』が困った時の私たちの合言葉になっています。

(文章担当：T、N、Y)



***** カリキュラムの紹介 *****

こすもすくらぶ のカリキュラムの一部をご紹介します！

当事者研究

弱い立場であるとされる障がい者(当事者)は、周りの人に支援してもらっているという印象を持たれがちです。しかし、当事者研究は、当事者である私たちが、自身の困難(病気や障がい)と向き合い、理解して、自分自身の専門家になろうという考え方です。当事者目線で問題解決するために、様々な困難を研究課題とし、取り組んでいます。



*** みんなの声 ***

自分の障がいがどういったものなのかを知ることができました。(N・Y)/続けていくことで、少しずつわかるようになりました。(T)/自分の心と向き合えます。同じ仲間だから話しやすいです。(Y)/自分なりの自由な発想ができます。元気が出ます。(T)/今までは障がいという事実を受け入れられませんでした。当事者研究を学ぶことで理解できました。(Y)

最初の頃は、難しそうとか、不安の声もありました。しかし今では、この研究会への理解を進めたり、楽しんだりして変化が出てきています。

料理

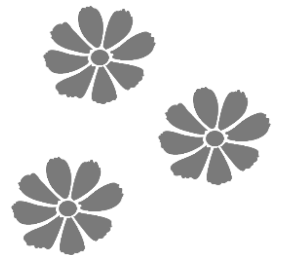
料理は週に2回、ごはん物と、スイーツの日があります。季節に合わせて、9月にはお月見団子、12月にはケーキを作りました。好評だったメニューはサラダ巻きや、どら焼きなどです。作ったあとはみんなで楽しく試食しています。家でもまた作れるように、職業講座の時間にパソコンでレシピを作成しています。



*** みんなの声 ***

毎週、おやつを作るのが楽しみです。(N)/料理を通し、色々な職業の訓練になっていると思います。(Y)/苦手な共同作業でも、ワイワイしながら楽しくできています。(T)

みんなと協力して作れるかな、苦手な料理もがんばれるかなと気にしていた人も、楽しく料理作りができて自信がついてきました。中には家で家族に作ってあげるのが楽しくなってきたという人もいます。



〈編集後記〉

- * 文章にするという作業に苦労しましたが、創刊号に参加するという意気込みでものすごく頑張りました。(Y)
- * 社長さんのインタビューは緊張しましたが、話していくうちにだんだん楽しい話になりました。(T)
- * 最初はできあがるのかと不安でいっぱいでしたが、できあがると達成感はとても大きかったです。(Y)
- * この数ヶ月間、かかりきりだったのでやっと肩の荷が下りました。今日から良く眠れそうです。(T)
- * はじめて新聞を作るにあたって、こんなに大変な作業なんだなあと思いました。(N)

〈発行〉(株)コスモス 自立訓練(生活訓練)事業所こすもすくらぶ 就労移行支援事業所〈コスモス〉ケアサービス

〒531-0041 大阪市北区天神橋7-3-2 大山ビル8F TEL:06-6940-0875

FAX:06-6940-4003 URL:<http://jobcosmos.jp> Email:club@jobcosmos.jp



見学・体験受付中!!